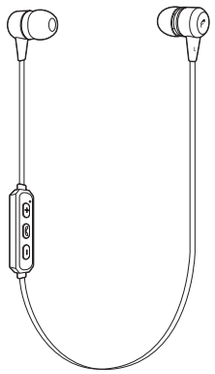
AudioComm®　取扱説明書

ワイヤレスステレオインナーホン

型番：HP-W173N-S/K/R
品番：03-2496/2497/2498



このたびは、
AudioComm® ワイヤレスステレオインナーホンを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項
下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。
誤って交換すると爆発する危険があります。

- ●充電式電池(リチウムポリマー電池:本機に内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- ●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

主な仕様

電源	DC5V(USB給電：microUSB入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 60mAh)
型式	ダイナミック型　口径10mmドライバー
インピーダンス	32Ω
出力音圧レベル	101dB
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
変調方式／周波数帯域	GFSK ／ 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
最大登録可能台数	8台
マルチポイント	同時待受　最大2台
再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
マイク指向特性／感度	全指向性／−40dB
充電時間	約1時間(残量ゼロからフル充電まで)
再生可能時間	約6時間(50%音量)
通話可能時間	約6時間(50%音量)
許容動作温度／湿度	温度:0~40℃　湿度:20~80%(結露なしにて)
外形寸法	イヤホン：幅11×高さ11×奥行20mm コントローラー：幅46×高さ11.9×奥行8.9mm 全長：約58cm
質量	約10g
付属品	専用充電コード、イヤーチップ(S、M、L Mは本体に装着済み)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、再生可能時間、通話可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。 ※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

⚠危険　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

●**充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない**
- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

●**心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す**
- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

●**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない**
- 感電するおそれがあります。

●**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する**
- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

●**万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する**
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

●**分解、修理、改造しない**
- 火災・感電の原因となります。

●**航空機内や医療機器の近くで使わない**
- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

●**自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない**
- 高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

●**本機や充電コードの上に重いものをのせない**
- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

●**充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない**
- コードが破損して火災・感電の原因となります。

●**付属の充電コード以外では充電しない**
- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

●**運転中は本製品及びスマートフォンを使用しない。運転中にスマートフォンの画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない**
- 必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。
- 歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。

●**火の中に入れない**
- 誤って火中に入れると、充電池式電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。

⚠注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

●**小さなお子様の手の届かないところに保管する**
- 誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。

●**長時間、大音量で聴き続けない**
- 聴力障害などの原因となることがあります。

●**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない**
- 感電や故障の原因となります。

●**ぬれた手で操作しない**
- 故障や感電の原因となることがあります。

●**暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない**
- 破損・故障の原因となります。

●**ズボンなどの後ろポケットに入れたり、かばんの中に入れたままにしない**
- 気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。

●**充電コードを熱器具に近づけない**
- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●**キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない**
- 内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

●**振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない**
- 落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

●**シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない**
- 変形・変色の原因となります。

●**自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない**
- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

●**充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない**
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部を持って抜いてください。

●**日本国以外では使用しない**
- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内：Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】
本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。
※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】
本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】
本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【機器認定について】
本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。　R 007-AM0059

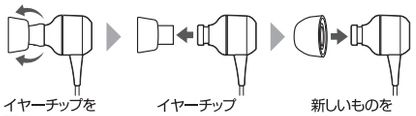
【使用周波数と注意事項】
本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。
- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- ●使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- ●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- ●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- ●医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- ●無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- ●その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- ●植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

イヤーチップの交換方法

本機には3種類(S、M、L)のイヤーチップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時は、Mサイズが装着されています)。



イヤーチップを裏返す　→　イヤーチップを取り外す　→　新しいものをはめ込む

故障かなと思ったら

●**充電できない**
- 本機とパソコンが正しく接続されていますか。
- 付属品ではない充電コードを使用していませんか。
- USBハブなどを経由して接続していませんか。
- パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

●**電源が入らない**
- 十分に充電しましたか。
- マルチファンクションボタンを長押ししましたか(短く押していませんか)。

●**ペアリングできない**
- 相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- 相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- 相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

●**Bluetooth接続ができない**
- 本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- 相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
- 相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。

●**音が出ない**
- ペアリングしましたか。
- 本機または相手側機器の音量が最小になっていませんか。
- 相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

●**音声が途切れたり、ノイズやエコー音がする**
- 相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- 無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

●**Bluetoothにて接続中のスマートフォンに着信があっても、本機が応答しない**
- スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
- 一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。スマートフォンの取扱説明書などでご確認ください。

お手入れのしかた

お手入れの前に必ず電源を切ってください。

- ●本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
- ●シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

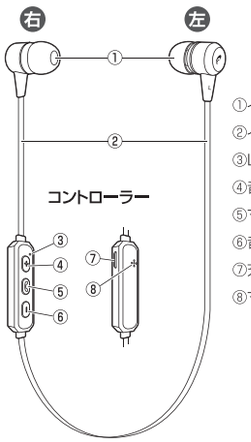
保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- ●**調子が悪いときは**：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- ●**保証期間中は**：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ●**保証期間が過ぎた場合は**：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

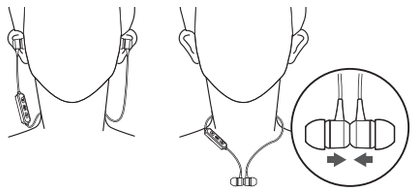
各部の名称



①イヤーチップ
②イヤホンコード
③LEDランプ
④音量／スキップボタン(+)
⑤マルチファンクションボタン
⑥音量／スキップボタン(−)
⑦充電用microUSBポート
⑧マイク

装着方法

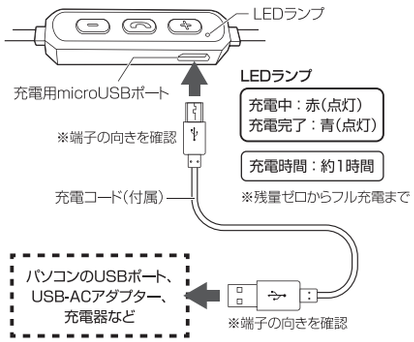
●イヤホンコードを首に掛け、イヤホンを耳穴に合わせて軽く入れて装着してください。
●インナーホンにはマグネットが内蔵されており、使わないときは双方を連結させてスマートに収納できます。



ご注意
●キャッシュカードなどの磁気カードや腕時計などを本機に近づけると、磁気の影響により、記録内容の消失や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

充電のしかた

本機の充電用microUSBポートとパソコンのUSBポートなどを、付属の充電コードで接続してください。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青に変わります。



ポイント
●必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
●電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
●パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
●家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

ご注意
●許容動作環境(温度：0℃〜40℃、湿度：20〜80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
●十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
●長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

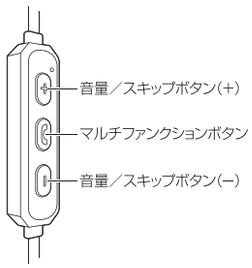
電源のオン／オフ

電源オン マルチファンクションボタンを約3秒間長押しすると電源が入ります。
●電子音が鳴ってLEDランプ(青)が短く点灯します。その後、LEDランプは青と赤の交互点滅になります(サーチモード)。
●はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリングのしかた」を参照して操作してください。

電源オフ 電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、電源が切れます。
●電子音が流れ、LEDランプ(赤)が数回点滅したあと消灯します。

ご注意
●電源を切るときに長押しの時間が短いと、音声アシスタントが起動することがあります。電源を切るには、そのまま電子音が鳴るまで押し続けてください。
●使用中に電池残量が少なくなると、LEDランプ(赤)が点滅し、電子音が間隔をおいて流れます。しばらくすると、電源が切れますので、早めに充電してください。

音楽再生に関する操作



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生／一時停止	約2秒間：音声アシスタントを起動※1 約4秒間：本機の電源を切る
音量／スキップボタン(+)	音量を上げる※2	次の曲を再生
音量／スキップボタン(−)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生※3

※1「音声アシスタントについて」をご参照ください。
※2 最大音量に達すると電子音が鳴ります。
※3 直後にもう一度長押しすると、1つ前の曲に戻ります。

ご注意
●相手側機器の機種や使用アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、機能しないことがあります。

音声アシスタントについて

マルチファンクションボタンを約2秒間長押しすると、電子音が鳴り、音声アシスタント(Siri、Googleアシスタントなど)が起動します(通話中を除く)。音声アシスタントを終了するときは、もう一度マルチファンクションボタンを約2秒間長押ししてください。

ご注意
●音声アシスタントは、ボタン操作による起動や画面ロック中での起動が許可されていないと、反応しないことがあります。スマートフォン側の設定をご確認ください。
●マルチファンクションボタンを長押ししすぎると、電源を切る操作になりますのでご注意ください。
●相手側機器の機種や使用環境によっては、反応しなかったり、反応するまでに時間がかかる場合があります。

ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。
はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

1 本機と相手側機器を1m以内に近づけ、双方の電源を入れます。
●相手側機器→本機の順で電源を入れてください。
●本機の電源を入れると、サーチモード(接続可能な機器を探している状態：LEDランプが青と赤の交互点滅)になります。

2 相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。

Bluetoothの設定画面を開く
iPhone：[設定]→[Bluetooth]
Android：[設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]
上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

▼

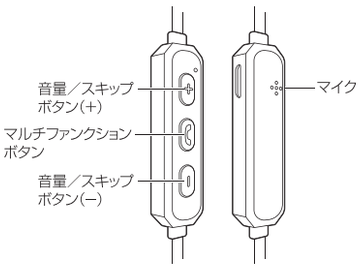
本機を登録する
Bluetooth設定画面で本機の名称「HP-W173N」が表示されたら、それを選択します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

▼

本機との接続が完了すると…
電子音が鳴って、本機を使用できる状態になります。接続完了後は、LEDランプが約5秒ごとに1回青く点滅します。必要に応じて、相手側機器で再生などの操作をしてください。

ご注意
●本機はBluetooth標準規格Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、それらのうちのいずれかを選択してください。その他のプロファイルでの動作は保証しかねます。
●本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
●サーチモードなどBluetooth機器と未接続の状態が約5分間続くと、ペアリングがキャンセルされ、電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
●最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続も可能な状態のときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書などを参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
●ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
●使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないか、本機または相手側機器の電池残量が減少していないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。
●本機は最大8台のBluetooth機器を登録できます。8台を超えて登録しようとすると古いものから削除されます。

通話に関する操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
音量を上げる	音量／スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量／スキップボタン(−)を押す
リダイヤル	マルチファンクションボタンを2回続けて押す※
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを約2秒間長押しする

※リダイヤルは直前の通話相手(発信先または着信元、ただし非通知の着信元を除く)となります。

ヒントとご注意
●マイクを指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
●お使いの機種や設定により、以下のようなケースがあります。
- 通話に関するボタン動作が異なっていたり、機能しないことがあります。
- スマートフォン側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したいときは、機器付属の取扱説明書などを参照し、出力先を本機に設定してください。
- 着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音が出力される場合などがあります。

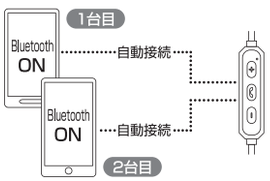
マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台のスマートフォンを同時に待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

1 1台目のスマートフォンと本機をペアリングします。
その後、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにします。

2 2台目のスマートフォンのBluetooth機能をONにして、本機とペアリングします。その後、2台目のスマートフォンのBluetooth機能もOFFにします。

3 本機がサーチモードになっている状態で2台のスマートフォンのBluetooth機能を順にONにします。
●2台のスマートフォンに自動接続されない場合は、スマートフォンに表示される本機名をタップして手動で接続してください。



ヒントとご注意
●どちらかのスマートフォンに着信(呼び出し)があったときは、マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
●着信応答などの操作は、スマートフォンの機種などにより異なる場合があります。
●使用環境によっては、接続が不安定になることがあります。
●マルチポイント機能が使えるのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。また、すでにこれらの機器と接続されている場合は、それぞれの機器側で接続を解除してください。
●本機と接続した2台のスマートフォンを3者間通話などで同時に使うことはできません。
●この機能はすべてのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。